

# イデア通信

第25号

2006年9月10日



代表の  
須藤です

「縁」

「人は一生のうちで出逢うべくして必ず出逢う。しかも一瞬遅からず、一瞬早からず」と、哲学者で教育者の森信三先生はおっしゃいました。ドキッとするような言葉で私は心を奪われました。建築を志していた学生時代「縁」の勉強から、建築の「縁側」と人との「ご縁」には密着な関係を学んだことを思い出します。「サゼ工さん」にも登場する、「ぬれ縁」や「ひろ縁」は近所の方たちや世代を超えた人々の「ご縁」を深める空間で、軒先で心と心のふれあいが無限に広がる空間です。みなさんはどんな「縁」を思い浮かべるでしょうか？

私たちイデアは、ご近所同士や世代を超えたお付き合いが少なくなってきた昨今の住環境の中、よりよい地域社会を目指すために、また子供や若い世代に引き継いでいくためにも、さらには良い「ご縁」の場を提供するためにも、是非みなさんに知恵やご指導をいただきたいと考えています。そして今後も、森信三先生の言葉を大切に、みなさんとの「ご縁」や建築の「縁側」を大切にながら、そんな環境を提供し続けていきたいと考えています。



## クマちゃんの知っ得防災

9月は防災月間ですね。各自治会でも防災訓練が自白押しです。住んでいる地域の訓練に参加する方は多いと思いますが、地震発生時に自宅に居るとは限りません。勤めに出ている方は、勤め先の避難場所・一時集合場所を確認しておくといいかもしれません。

### でももし、自宅で地震が発生したら・・・ こう行動をしよう！

発生～2分 自分の身を守る  
●机の下入る。家具から離れる  
●ドアを開ける(逃げ場の確保)

2～5分 火の始末  
●三度のチャンスで初期消火  
1.揺れを感じた時  
2.大揺れが収まった時  
3.出火した直後  
●あわてず落ち着く  
●非難の際はガスの元栓  
●電気のブレーカーを切る

漏電による  
火災を防ぐ



5～10分 家族の安全確認  
●家族の安全を確認  
●靴を履く  
●非常持出品を確認



10分～半日 隣近所の安否を確かめて、助けを  
●隣近所の安否を確認  
●お年寄りや身体の不自由  
な人の安全を確保  
●助け合って消火・救出活動



～3日 自分や地域でしのごく！  
●水・食料は備蓄でまかなう  
●正しい災害情報や広報を入手  
●壊れた家に入らない



デマに  
注意

また、毎年一回、防災グッズの見直し(賞味期限切れや電池切れ等)をして“もしも”の時に困らないようにして起きましょう。まだ用意をしていない方は実際被災した方の意見(下記)も参考にするといいですよ。備蓄の基本は最低3日分の生活消耗品を揃えることです。(3日とは、被災地に救援物資がほぼ届く日数です)

### 阪神淡路大震災で役立ったもの TOP10 ランキング

- 10位 小銭(両替やつり銭が出ない)
- 9位 軍手(危険物が多いので)
- 8位 ウェットティッシュ(手や体を拭くため)
- 7位 乾電池(懐中電灯やラジオ用)
- 6位 トイレトーパー  
(汚れ落とし等、使いたい量だけ使える)
- 5位 ラジオ(特に太陽電池型)
- 4位 ビニール袋  
(洗濯物を入れたり、壊れたバケツに敷いて水を入れたりなど)
- 3位 ラップ(皿の上に敷いて食器を汚さない)
- 2位 食料品(インスタント食品・チョコレート)
- 1位 懐中電灯(1個/人)

勤務先では・・・下記の物を最低限用意しておきましょう。大きな地震が発生すると交通機関が不通となり帰宅できない方が多くなると想定しています。

- 机の下には運動靴
- 勤務先から自宅までの防災マップ  
(書店に出ています)
- 水・インスタント食料
- 携帯電話用手回し充電器





# もっとたくさんの人に知ってもらいたい!

阪神淡路大震災から11年。被災地域もほぼ復興していく中で記憶が次第に薄れ行く現状があります。しかしこの11年、体を感じる地震が24,000回も日本列島で発生しているってご存知ですか?

1.5日に一回の割合です。多いですね。もともと火山断層の上にある日本列島は昔から地震は多かったですが、近頃は震度も大きく頻繁に発生しているように感じます。そこで、地震に備えた家とはどういったものなのか?9月2日(土)に勉強会を開きました。

阪神淡路大震災の死亡者は8割が建物倒壊によるものでした。なぜ多くの犠牲者を出してしまったのか?考えられる原因を1つ1つ探り、対策法を見ていただきました。

「もし、自分の家が倒壊しやすい家だったとしたら・・・」考えるだけでゾッとしますね。「もうそのときは仕方ないね・・・」とあきらめる声もありましたが、確かにタダで家の補強ができるわけではないので費用のことを考えると目を瞑りたい気持ちはわかります。しかしここ数年、国から補助がでていることを知っていましたか?

全額負担をしなくても「地震に強い家」にすることは可能なんです。

今回は一番気になる費用面の援助についてお知らせします。

昭和57年6月以前に建てられた家の補強工事をしたら・・・

- ①一世代あたり最高150万円の補助金
- ②工事費-150万円=残金 住宅金融公庫でローンを組むと無利子になる
- ③固定資産税が最高3年減額処置(工事費30万円以上が対象)
- ④所得税特別控除(補強費用の10%最高20万円)

工事の内容にもよりますが、自己負担は意外に少ないのかも知れません。

上記の内容は取り扱い時期や細かい条件もありますので詳しくは弊社へお問合わせ下さい。



## 今回のセミナー参加者は・・・

- ◆すでに取れる対策は行っているが、まだまだ不安な面はある。①屋根が重い②壁量が少なく捻れによる力に弱いかも・・・③シロアリ・腐食などが普段目視できないのでどうなっているかわからない。(斉藤様)
- ◆地震が結構多く起こっていることを教わりびっくり致しました。神縄地震がいつ起こってもおかしくない事を教訓に対策に役立てたいと思いました。ありがとうございました。(斉藤様)
- ◆本来は市が開催してもよい内容のセミナーで、いろいろな事例を紹介したスライドを見せていただいた。もっと多くの人に知ってもらおうことをすすめたい。特に改善シミュレーションは大変有益でした。(M様)
- ◆大変判りやすい資料と説明で認識を新たにしました。ありがとうございます。(I様)
- ◆我が家は診断を受けていますが、今後に生かせる知識を得ることができました。(A様) 武田様・S様・岡本様もご参加ありがとうございました。

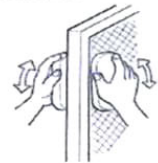
このセミナーは定期的に開催したいと思います。今回都合で参加できなかった方は、来年のご参加をお待ちしております。

## ひと夏の汚れ落とし

ようやく朝晩が涼しくなり、いつの間にかセミの声から秋の虫の声に変わっていますね。季節は変わっているんだなと感じます。しかし、昼間はまだまだ暑い日が続き、日頃利用している網戸も目地になんだか白いカスのようなゴミがついていたり、汚れていませんか?そこで網戸のお手入れ法を伝授します。



- ◆埃落としは、網の裏に新聞紙をあてて掃除機で吸い取ります。
- ◆汚れが掃除機で落ちない場合は、乾いたスポンジを2つ用意し、両面から挟むように擦るとキレイになります。
- ◆洗剤を使わないとイヤ!という方は、洗濯粉石けんを溶かして泡立ててホイップ状にし、網戸の上の方から塗ります。すると泡が下へ流れる際に汚れを落としてくれます。(擦らないでOK) あとは水で流すだけ!皆さんも試してみてください。



# IDEA

住まいの問題解決隊 株式会社イデア  
 〒247-0033 横浜市栄区桂台南1-9-1グランポア2F  
 営業時間9:00~20:00 電話7-ゲイ4 0120-39-3992  
 ホームページ <http://www.y-idea.co.jp>

※イデア通信は、今までに工事をした方、資料請求いただいた方、セミナーに参加いただいた方を対象に配布をしています。ご意見・ご要望・ご提案なんでもお待ちしております。(熊澤)